

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

Dogushi

桐串 -とぐし-

Autumn 2016

Vol.15

特集

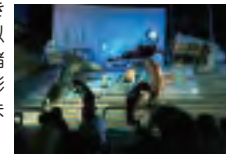
シンポジウム「人形づくりはやめられない！
関西の人形美術家が大集合」

Dogushi Vol.15 2016年11月発行 発行：「人形劇のまち飯田」運営協議会
制作：NPO法人いいた人形劇センター TEL 050-0044-0600 FAX 050-0044-0904 E-mail: itida-puppet@misjans.or.jp

掲示板 いいた人形劇センター からのお知らせ

巨大人形劇プロジェクトin南信州 「さんしょうお」 一緒につくる人、演じる人 募集!

昨秋スタートした「巨大人形劇プロジェクトin南信州 さんしょうお」。8月のフェスタで行ったデモンストレーションは1,000人を超える方々にご覧いただきました。そして、9月から来夏の完成バージョンの制作が始まりました。夜間の作業、練習に参加できる中学生以上の方。一緒に巨大人形劇をつくりましょう。



講師: 沢則行 (人形劇師・チェコ在住)
対象: 夜間の制作作業、練習に参加できる中学生以上
参加費: 大人2,000円(月)、学生無料
問合せ: いいた人形劇センター
☎050-3583-3594

Dogushi



View of IIDA

海外の優れた芸術作品を鑑賞する「せかいの劇場」第4弾はブルガリアの「クレディアター」。60分を越える公演のセリフはすべて日本語。劇団主宰で俳優・演出家のニーナ・デミローヴァさん(写真右)は、真っ白な舞台を「白は愛を表す色」と観客へメッセージ。飯田人形劇場は家族を愛するあたたかな気持ちで包まれました。

わかる!! 人形劇用語

『布袋戯(ブータイシ)』
銅鑼やシンバルなどの派手な楽曲。アップテンポな殺陣。人形が空中で回転をするなどのアクロバティックな演技。これらが相まって我々を楽しませてくれるのが台湾の片手遣い人形劇「布袋戯」。

光線を使用した派手な演出も現れてきます。またテレビでも絶大な人気を誇り、1970年代に放映された『雲洲大唄』という番組は、最高97%という視聴率を記録したそうです。泉州を中心に大陸でも演じられていて、こちらが発祥の地とも言われています。



(人形芝居燕屋くすのき燕)

並木 さんぽ

日本の飯田、韓国の春川、台湾の雲林。東アジアで大規模な人形劇の祭典を開催している3つの団体が友好提携を結んで8年になる。今年、新しく迎えた芸術監督の考えが大きく反映された春川。昨冬、新幹線の新駅ができたことでメイン会場を駅近くに変更した雲林。それぞれに共通するのは「新」。ただし、これまでのあゆみを継承しての「新」だ。2年後、飯田のフェスタは20周年、カーニバル時代から数えると40周年を迎える。人形劇界では、日本の飯田ではなく『世界の飯田』といわれるようになって久しい。春川、雲林の人形劇祭を訪ね、飯田が行う「新」とは何か、を考えた。

次号は1月発行予定です。(帆)

表紙イラスト: 井原千代子

特集 シンポジウム

「人形づくりはやめられない! 関西の人形美術家が大集合」



いいだ人形劇フェスタ2016の関西特集にちなんで、関西で活躍する4名の人形美術家を招いてシンポジウムを開催しました。今年のフェスタのオープニングを飾った『漫才の星になるんや』をはじめ、観劇だけではわからない人形づくりのヒミツに迫りました。

※紙面の都合上、内容を要約した一部のみを掲載しています

人形づくりを始めた経緯

木田 作るものがいろいろとある中で、なぜ人形づくりになったのでしょうか。みなさんが人形づくりを始めたきっかけをお聞かせください。

清水 絵を描いたり、物を作ったり美術的なことに興味があり、そこから人形劇の美術の世界に入りまし。小さい頃は周りの大人の仕事に興味を持ち、大工、絵描き、ちくわ焼き、車掌、学校の先生などを考えていました。大学の時に人形劇団京芸のアルバイトを始め、団員の勧めに応じて1か月後には独身寮に入り、その後入団しました。裏方の仕事から入って、次第に演じること、人形美術にも関わらうようになりました。

永島 人形劇のサークルに入っていた大学の時、静岡人形劇人協議会の10周年記念に人形劇団クラルテの『女殺油地獄』を見て、近松作品に強い影響を受けました。上演前に舞台の上手と下手に人形がぶら下げてあり、それが始まった瞬間に遣い手が人形を蘇らせる演出を見て、一生の仕事にしたいと思い、クラルテに入団しました。美術の勉強をして



清水正年

1985年人形劇団京芸に入団。『潜水海賊キャプテン・グック』のスパンスボン役や、『漫才の星になるんや』の主役陣平役として子どもたちの人気を集める。現在、人形劇団京芸の取締役社長でもある。



永島梨枝子

1977年人形劇団クラルテ入団。主な人形美術に『ゼロ弾きのゴージュ』『ハムレット』『火の鳥』など。また、美術の担当の傍ら、役者としても『女殺油地獄』のお吉、『ハムレット』のオフィーリアなど、数々の重要な役を担う。



山田俊彦

2001年、人形劇団ココンとしてプロ活動開始。糸操り人形操作、製作を糸あやつり人形劇団みのむしの飯室康一氏、アルブレヒト・ローゼル氏に学ぶ。『マリオネットの小品集』で第3回日本人形劇大賞の金賞を受賞。

人形劇づくりの多様性

木田 人形美術家として人形劇の制作はどのようにしていますか。

清水 劇団では作・美術・演出を敢えて分けて、お互いに刺激し合える場としています。原作のあるものは結末に至るための経過を人形でどう表現するかを考えています。例えば『漫才の星になるんや』では、大ホールで自由に動き回れるようにウレタンを使用し、遠くからでも見えるように人形全体のバランスを取りながら頭を大きく、体を小さくしています。5年ごとに作り直してすでに3代目です。

永島 60周年の時に作った『火の鳥 黎明編』の登場人物ナギでは、もともと持っている作品のメッセージをどう伝えるかに重点を置きました。テーマは平和、そして生きるよろこび。人形にエネルギーがないと伝わらないため、いろいろな想像によって表情が動くように人形を制作しました。人間にはまねできない人形のダイナミズムが人形の魅力だと思います。

山田 他の3名の方と異なる点が3つあります。糸操り、作・演出・美術をひとり担当、ほぼオリジナル作品。オリジナルなのは結末が分からないで見てもほいから。また、ストーリーに合う人形を作って演じるのではなく、モノである人形からの発想で作品を構成することがあるから。モノと人間との間の揺れ動きが人形劇の面白さで、モノ性を重視した作品も作っています。

吉田 美術専門のため、依頼があつて人形制作をしています。様々な仕掛けに挑戦することも大事ですが、基本的にはシンプルなものを作りたと思っています。人間の想いとともに入形に命を吹き込むのは観客で、表現の足りないところはお客さんが想像力で補ってくれます。人形で表現されると人間の属性を超えた、ものすごく純粋な気持ちになれるのが人形劇の魅力です。

木田 人形劇の表現については話が尽きないところではあります。みなさんから貴重なご意見を伺うことができ、ありがとうございます。



吉田太郎

人形劇団京芸を経て、宇治市に工房太郎設立。人形劇団京芸を退団した守津綾が合流。その後神戸に移転。2015年から、廃絶した神戸の伝統からくり人形「神戸人形」復活に乗り出す。現在唯一の神戸人形師。



木田敬貴

いいだ人形劇センター事務局長

わくわく イベントスケジュール

人形劇in丘のまちフェスティバル

11月3日(祝) 10:30、12:30、14:30

会場/川本喜八郎人形美術館 料金/無料 出演/P.ことり座 上演約1分、定員2名の日本一小さな人形劇を1時間繰り返し上演

秋の夜長を楽しむ公演

11月8日(火) 19:30 会場/飯田市鼎文化センター

料金/大人1,500円、小中高生1,000円(8歳以上対象) 出演/Performing Group「TRASHedy 地球の正しい使い方」(ドイツ) ダンスとアニメーション映像を駆使して、エコロジカル・インテリジェンス(正しくエコを選ぶ力)を子どもたちにもわかりやすく、ユーモラスに説明

文楽公演

11月21日(月) 会場/昼の部 13:30 竜峡中学校体育館、

夜の部 19:00 飯田女子高校視聴覚室 料金/無料 演目/二人三番巻、伊達娘恋緋鹿子火の見櫓の段、三業解説 飯田市龍江出身の文楽座所属・鶴澤清志郎、吉田襄之が凱旋出演

森のほかほかクリスマス

12月4日(日) 会場/かごこし子どもの森公園

料金/1,000円~(人形劇公演のみ800円) 出演/人形芝居ひつじのカンパニー「キノコちゃんダンス!!」 人形劇公演のほか、クリスマスリースやピザをつくる体験を組み合わせたスペシャル企画

人形劇定期公演

12月18日(日) 会場/飯田人形劇場 料金/200円

地元アマチュア劇団による連続公演

ましゅ&Keiのクリスマス会

12月23日(祝) 会場/川本喜八郎人形美術館 ※有料

ましゅ&Keiがゲストを迎えて繰り広げる一日限りの愉快なステージ

初春を寿ぐ竹田人形館

1月7日(土) 会場/竹田人形館 ※有料

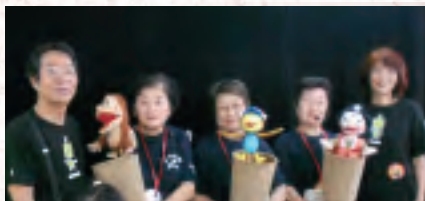
竹田人形座・鈴木知子、かわせみ座・山本由也が、館内の「雪んこ」舞台上糸操り人形を上演

「かざこしのはな」と親戚

人形劇団のはな 納富俊郎

第4回 すべての道は 飯田へ通ず

飯田に行ったら、同じのはなという劇団があるのです。びっくり！たぶん、飯田のはなさんが先に命名されていたのだと思います。申し訳なくもありがたいことでした。それから、勝手に親戚になったのです。かざこしのはなさんは、高齢の方々の劇団で10人位の方がおられました。何年かたつたら、人数が3名になって、もう活動できないかという話で、何とかしたいと思ひ、去年から台本と人形を作り、少し指導しています。



かざこしのはなの皆さんと

小さい子どもにも良いかもしれせん。いいだ人形劇フェスタの、おいらんよサロンで、私達との合同公演をやりました。今年も、違う作品でやりましたよ。皆さん上品で、私のダジャレとおやじギャグには困られたと思ひますが、楽しくやりました。来年も、生きていたら、またやろうと言ひました。車いすや杖をついての人形劇だって考えられますから大丈夫。

次号は、北海道人形劇協合理事長の宮本和志さんです

シリーズ 人形劇に取り組む 子どもたち ④



追手町小学校3年「11びきのねこ ふくろのなか」ウレタンで一人一人の人形をつくります

飯田市内の小学校で人形劇活動に取り組むことが、8月のいいだ人形劇フェスタで上演することを第一目標に据えています。4月の新学期からわずか数カ月で作品の完成を目指すとなると、担当の教師をはじめ子どもたちにも集中力が必要となります。一方、夏から制作に取り掛かり、11月に行われる伊那谷文化芸術祭や地区の文化祭での上演を目標にする学校もあります。追手町小学校3年生は7月ころから題材を選び、32名の児童全員が役割りを分担できるように台本を仕上げました。8月から一人一人の人形を作り、11月の伊那谷文化芸術祭に向けて十分な稽古時間を設けました。



真剣な表情でウレタンを切る児童。線のとおりに几帳面に切る、とにかく早く切る…子どもたちの個性が出ます



丸山小学校5年2組「ぼくたちわたしたちの西遊記」。場面転換に必要な背景画をみんなで手分けして描きます



鼎中学校人形劇部の「ヘンゼルとグレーテルとジャックと豆の木」。二つの物語を合体させ、家族を愛する大切さを伝える作品に仕上げました。工作が得意な部員は稽古中に人形の不具合に気づき休憩中に即、修理をします

してはなかった活動計画に「人形劇」を取り入れることに。こちらも伊那谷文化芸術祭での上演に向け、熱の入った稽古が続いています。中学校は部活動で取り組むことからフェスタでの上演はほぼ確定。再演に向けて作品をブラッシュアップしていくことに重点が置かれています。鼎中学校人形劇部の「のん」の部長・水原愛さんは文化祭での再演に向け「フェスタでの反省を生かして人形を作り直したり、声の出し方を変えたり、みんなで意見を出し合つて稽古をしています」と話していました。



発行 伊那史学会 1967年 297頁

Library Cafe 飯田とつながる世界の人形劇図書資料から⑯

『伊那の芸能 伊那文庫4』 村沢武夫 著

郷土史家・村沢武夫(1901~1990)の、貴重な蔵書等6000点が飯田市立中央図書館郷土資料室に「村沢文庫」として残る。この著作は伊那谷の芸能全般に及び、消滅した人形座などについても記載あり。また飯田には多くの寄席や劇場が存在し、なかでも明治期、錦水亭(松尾)で「写し絵」をやっていたという。さらに「吉田金吾の操り人形芝居」も。銀座通りの鳳昌亭は「文楽」興行、常盤座では飯田初の「幻灯」上映。大正期には、面白倶楽部(二本松)で「結城孫三郎座」の系操りが評判をとり、追手町の飯田劇場で地元の「黒田人形」が興行とある。これらのどれも貴重な記録である。

(人形劇の図書館長・湯見英明)

海外レポート 東アジアの人形劇祭を訪ねる

台湾新幹線の
駅近くにある農
博生態園で開
催。緑あふれ、開
放感のある会
場。連日の雨が
ちょっと残念



いなご☆チャーハン「北風と太陽」

台湾 雲林国際偶戲節 10/8-13

台湾布袋戲のふるさとといわれる台湾中部・雲林縣で行われる。10年ほど前から飯田と雲林は人形劇を通じた交流が盛んで、今年も飯田の劇団が参加。市民参加のワークショップから誕生したユニット、いなご☆チャーハンが「北風と太陽」を上演し、会場には多くの観客が詰めかけた。

場内には布袋戲の人形や、金光戲と呼ばれる大型の人形を展示・販売するコーナーも。さらに、人間国宝黄俊雄氏の舞台には夜9時を過ぎているというのに千人を超える人々が集まる様子を見て、民衆に親しまれている人形劇「布袋戲」の存在をあらためて実感した。



オープニングセレモニー。
出演者全員で記念撮影



メイン会場の春川人形劇場。マスコット
キャラクター「COCOBAU」が迎える

突然現れた人形
の集団。子どもよ
り大人に大ウケ

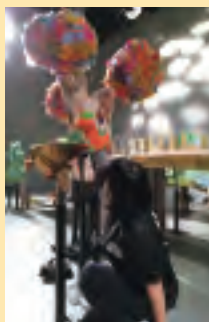
韓国 春川人形劇祭 9/29-10/3

ソウルから車で2時間。韓国で唯一、人形劇を中心に上演する春川人形劇場をメイン会場に行われ、今年28回目。国内は若手劇団や初演に近い作品の上演が多く、海外はフランス、ベルギー、スペイン、スロベニアの劇団が参加。どの会場も満席状態で、終演後は観客が舞台上がり、人形・キャストとともに記念撮影が行われていた。

昼ごろ屋外の広場で休憩をしていると突然、人形の集団が出没。国内の劇団が協同して予定にないプログラムを練り広げ、大人たちが人形に誘われるまま一緒に歌い踊り、楽しそうに写真を撮っていた。



人形劇場のロビーにはユニークな
人形が飾られている



Eテレ「ざわざわ森のがんこ
ちゃん」スタジオ収録の様子。
ヘビの「チョコビ」を操演

「テレビ画面の向こうの子どもの顔を思い浮かべて追いなさい」先輩の言葉を胸に今日も明日も収録現場に向かいます。

映像人形操演の魅力が挙げたらざらざらありません。画面のなかで思う存分勝負できること、モニターを見ながら人形を遣うこと、短時間のリハーサルと本番収録というギョツと濃縮された有意義な時間。半端ない集中力と緊張感。などなど。

私は一生この仕事をしていきたいという気持ちには誰よりもあると思っています。それだけ映像人形劇が好きです。
「テレビ画面の向こうの子どもの顔を思い浮かべて追いなさい」先輩の言葉を胸に今日も明日も収録現場に向かいます。

人形を遣うひとがいることを初めて認識しました。今までテレビで人形劇は見ているはずだったので、操演の存在を全く知りませんでした。「人形の下に人がいる!!私がいいたいことはこれだ!」と胸に稲妻が突き刺さった感覚がありました。一生に一度の衝撃でした。そして長年の夢だったディレクターの道は捨て、映像人形劇の操演者になる夢を掲げました。テレビはすぐに新人は受け入れられないからと、人形劇の基礎を学ぶため先輩より勧められたブークの門をたたきました。

人形を遣うひとがいることを初めて認識しました。今までテレビで人形劇は見ているはずだったので、操演の存在を全く知りませんでした。「人形の下に人がいる!!私がいいたいことはこれだ!」と胸に稲妻が突き刺さった感覚がありました。一生に一度の衝撃でした。そして長年の夢だったディレクターの道は捨て、映像人形劇の操演者になる夢を掲げました。テレビはすぐに新人は受け入れられないからと、人形劇の基礎を学ぶため先輩より勧められたブークの門をたたきました。



筆者が活動する「うん
ころもち劇団」の人形
「うんころもち」

突撃!!

人形劇の ゲンバ Part13

人形劇講座 初級コースから 複数の作品が完成

オリジナルの台本で感染症予防を呼びかける作品をつくる“看護師チーム”の皆さん。人形の遣い方やセリフの言い回しなどプロの指導を受けます

今年5月から始まった人形劇講座初級コース。半年が経過し、作品の完成に向け熱が入った講座が続いているとの情報をキヤッチ。さっそく「ゲンバ」をおさえるべく、直行しました!
人形劇制作の初心者を対象にした「初級コース」は台本の選び方、人形の作り方、操演の仕方など人形劇のいろはを学べる講座。今年には中学生から社会人、シニアまで13人5グループが作品づくりに励んでいます。なかでも飯田下伊那の病院に勤務する看護師の皆さんは、子どもたちに感染症の予防を呼びかける作品づくりに挑戦中。伝え方はいろいろありますが、飯田に住む我々だからこそ人形劇をやってみようと思いましたが、人形ができてほっとしていますが、これからセリフや人形操作を覚えると思うと心配です」と代表の中山秀明さん。



女子高生2人組「ユースチーム」。
息を合わせて人形劇の基本といわれ
る「なかよし」に取り組んでいます

それぞれの作品は毎月行われる人形劇定期公演で順次上演予定。成果発表となる舞台を楽しみに待ちましよう。



絵本をもとに密林に暮らすヒョウを主人公にした作品をつくる女性二人のグループ。それぞれの名前からチーム名“ふくまつ堂”と命名



県シニア大学飯伊学部で学ぶ3人が課外活動で参加する“シニアチーム”。地元の民話を題材にした作品に挑戦中です

劇人協会通信

映像と人形・ 人形劇その5

日本人形劇人協会
山田はるか

日本人形劇人協会
舞台や映像番組で活躍している実演家と人形劇に係わる仕事を職業とする専門人形劇人の組織。人形劇人相互の親睦交流、活動条件の改善と社会的芸術的地位の向上をはかることを目的に1967年に設立されました。

「私が出会った映像人形劇」

NHKの子ども番組で人形操演の仕事をしています。

人形劇団ブークに8年、フリーになり8年、人形劇歴は16年になります。私が映像人形劇に出会うまでの経緯と、映像人形操演の面白さについて書きたいと思います。

私は子どもの頃からNHKの子ども番組が大好きでした。成長するにつれ、いつの間にか好きから作りたいに変化し、中学生の頃には子ども番組のディレクターを志していました。晴れてNHKの子ども番組のアシスタントディレクターになり、ディレクターになるための第一歩を踏み出した頃でした。

当時放送していた「ぼうけん!メカラッパ号」の収録現場を偶然目にし